

令和6年度生徒指導サポート実践校「特別活動の取組事例」

| | | | | | |
|-------|-----------------|----|-------|--------|--------|
| 学校名 | 広島県立松永高等学校 | 校長 | 宮本 昌明 | 生徒指導主事 | 佐々木 章吾 |
| 取組事例名 | 『文化祭における有志ステージ』 | | | | |

| 1 取組の設定 | |
|--|--|
| 取組を実施する意図及びねらい | 取組を通して育てたい児童生徒像 |
| <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の連帯感を養い、生徒が集団で一つの目標に向かって努力する機会を設ける。 ○生徒たちが主体的に学校行事に参加できるようにする。 | <ul style="list-style-type: none"> ○それぞれの役割を全うし、集団で一つの目標に向かって努力をすることで、他者の主体性を尊重しながら、自らの行動を決断できる生徒の育成。 ○積極的に学校行事に参加し、主体的に問題や課題の発見・解決に取り組む生徒の育成。 |



| 2 展開 | |
|---|--|
| 取組の具体的内容 | 取組の創意工夫 |
| <p>(実施までの流れ)</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 生徒会執行部による企画・立案 ② 生徒会執行部から企画総務部に提案 ③ 学校全体への周知、その後希望者を募る ④ 希望者の集会を開き、ステージの説明 ⑤ 生徒会執行部、部活動が協力し会場設営 ⑥ 発表者によるリハーサル ⑦ 実施 <p>(発表内容)</p> <p>ダンス、吹奏楽、バンド演奏等</p> | <p>生徒にめあてをもたせるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○有志ステージの目的を生徒に明確に伝える。 ○前年度の発表内容を事前に伝えることで、生徒たちに具体的な発表のイメージをもたせる。 <p>生徒の意欲を高めるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○生徒の主体的な取組を最大限尊重する。 ○発表前の段階で意欲が低減した生徒に対して、必要な程度教員が働きかけを行う。 ○生徒に、発表者に声援を送るように働きかける。 <p>生徒の頑張りを認め、価値付けるために</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教員が生徒の継続的な努力を認め、生徒が自信や自己肯定感を感じるよう、具体的に褒めていく。 |



| 3 成果と課題 |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ○有志ステージに参加した生徒に対しては、社会的資質・能力として、連帯感を養い、一つの目標に向かって努力する機会を提供することができた。目標に向かって主体的に取り組んだ経験をもつ生徒が少ない傾向にある本校の現状にあって、こうした機会を提供することができたことは意義深い。 ○より多くの生徒が有志ステージに参加できるよう、参加者を募る際に工夫が必要だった。 |